

講義名	研究演習（経）				
講義コード	15208	授業形態		開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限
担当教員	仲間 瑞樹			ナンバリング・コード	SEM250
学部・学科				演習分野	
経済学部（経済学科・経済情報学科）				ミクロ・マクロ経済学、日本経済、財政、公共経済分野	
概要説明					
この研究演習 の目的ですが、「現在、大学で勉強している様々な知識を、どのように活用し、様々な経済問題の解決に利用できるか」を実感してもらうことです。 そのために、やり方は古いですが、下で指定したテキストを読み、受講生（2人1組あるいは1人）に発表してもらいます。テキストは現在の日本経済・経営、世界経済のトピックを経済学の考え方で説明したものです。 将来ビジネスパーソンとなる皆さんにとって、ビジネスを進める、あるいは新聞、雑誌、各種ニュースを確認するとき、経済学の知識を活用して考えることは、問題点をより明確にし、問題の解決に至ることができます。そのためのトレーニングを、この研究演習 で行います。 具体的には、以下の方法で研究演習 を進めます。 ・割り当てられたテキストの内容を説明 ・テキストの内容について、発表者自身が疑問に思った事柄を説明 ・テキストの内容に関連する、現在の日本あるいは世界の経済・経営に関するニュースの紹介と解説 ・発表者以外の受講者は、発表者に対して必ず1人1回以上質問、意見を述べる ・発表者は発表内容に基づいたグループディスカッションのテーマを与え、グループディスカッションをする。各グループはディスカッションの内容を全体に報告。 この研究演習 で身につけた知識、そして経済学の考え方を経済・社会・経営問題に適用する力を研究演習 、卒業研究で活用してもらいます。所属学生の進路も考慮しながらになりますが、現時点では下のように計画しています。 研究演習 で公務員受験希望者が多い場合、公務員受験で必要になる科目の一部、特にミクロ経済学・マクロ経済学・財政学分野の勉強を中心にし、研究演習 で行ったタイプの学習（経済・社会・経営問題への経済学の適用）も続けてゆきます。民間企業希望者が多い場合は、研究演習 で行ったタイプの学習（経済・社会・経営問題への経済学の適用）を中心に扱い、ディスカッションの時間を研究演習 より多くとる予定です。 4年生になったら、皆さんが2年生、3年生にかけて学んだ事柄、身につけた力を利用し、卒業研究（論文形式あるいはレポート形式）つまり成果物を作成、提出してもらいます。テーマですが、各自興味のある日本あるいは世界の経済・社会・経営問題を1つ選び、選んだテーマに対して経済学の考え方を適用して論じてもらいます。扱う問題点を明確に示し、その問題点を経済学の考え方を利用して説明する。そして問題点の解決方法を提示してもらいます。 テキスト 伊藤 元重 「ビジネス・エコノミクス」日本経済新聞出版 第1回目 研究演習 の説明、自己紹介、アイスブレーキング、 教員がテキストセロ章を発表 第2回目 テキスト1章の発表 第 3 回目 テキスト 1 章の発表 第 4 回目 テキスト 2 章の発表 第 5 回目 テキスト 2 章の発表 第6回目 テキスト 3 章の発表					
主な卒業論文のタイトル					
2025年度からの研究演習 の開講のため、現在、2年生、3年生、4年生の学生がいません。 今年度から研究演習 に所属する皆さんが、初めての研究演習所属学生となります。 そのため卒業論文の提出もないため、卒業論文のタイトルの紹介ができません。					
教員よりの要望					
いろんなタイプの経済学部の皆さんを歓迎します。 例えば以下のようなタイプの人を歓迎します。 ・大学の経済学部で勉強したこと（していること）を、どのように活用したらよいかわからない人 ・大学に入学したけど、なんだか勉強が物足りない、簡単すぎると感じている人 ・大学に入学したけど、自分の意見、考えを伝える場がないと感じている人 ・現在の日本や世界の経済問題、新聞記事を、大学で勉強した内容を利用して考えたい人 ・普段は一人であることが多いけど、少人数のクラスでじっくりと勉強したい人					
選考方法					
現在、研究演習 の所属学生がいません。 研究演習 の見学はできません。 その代わりに、私の研究演習 を希望する人は、仲間本人が研究演習 について説明します。 指定された期間に必ず仲間本人を訪ねてください。 もし研究演習 の募集人数を志望者数が上回った場合は、仲間本人による面接（80%の評価）、GPA（20%の評価）で所属学生を募集します。面接では、志望動機、この研究演習 の中で、どのような力を伸ばしたいと考えているか、将来の進路を中心にお尋ねします。					

評価方法	
・出席 必ず確認します。無断の欠席回数が5回に達した時点で、不合格とします。 ・発表と質問（評価割合 50%） 自身が発表に割り当てられた日に無断欠席した場合、不合格対象者として扱います。 発表内容についての評価事項 ・指定されたテキストをしっかりと読み、発表をしているか否か。 ・発表の際、自身の意見や疑問を必ず述べているか否か。 ・発表内容に関連する話題を自身で探し出し、提示できているか否か。 ・発表内容に対する質問、意見を、毎回の演習の中で1回以上述べているか。	
教員英字氏名	研究室
Mizuki Nakama	研究棟 6階 2604
最終学歴	
大阪大学大学院経済学研究科博士課程後期 中途退学	
学位	
博士（経済学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
・研究活動 ミクロ経済学・公共経済論を中心に研究をしています。例えば以下のようなトピックを研究しています。 世代重複モデルを利用し、政府の経済活動（課税、公的年金、国債発行など）が経済もたらす影響を分析しています。 個人が子や親に与える遺産、贈与が経済にもたらす影響を分析しています。 資産バブル、土地が経済もたらす影響を分析しています。	
・研究業績（以下では3点のみの紹介にとどめます） 本間正明・岩本康志 著者代表（2019）『財政論』 培風館 以下の5章分を執筆 第2章「政府と市場の役割」 第3章「公共財の理論」 第9章「国債と年金」 第10章「人口の高齢化と少子化」 第11章「社会資本と人的資本」	
趣味・特技	
バイク ジョギング	
所属	
経済学部経済学科	
所属学会	
日本財政学会 日本経済政策学会	
専門分野	
ミクロ経済学・公共経済論・財政学	
担当科目	
（学部担当科目） ミクロ経済学 公共経済論 経済学入門 教養特講（日本経済の課題） 自己発見とキャリア開発A・B	
備考	
将来、民間企業だけではなく、公務員を希望されている人も歓迎します。 一部の公務員採用試験で課される試験科目（ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学）、その他、経済数学も含めて、リクエストに応じて、わからない箇所を解説することもできます。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験 無し	